

第一

と刻を

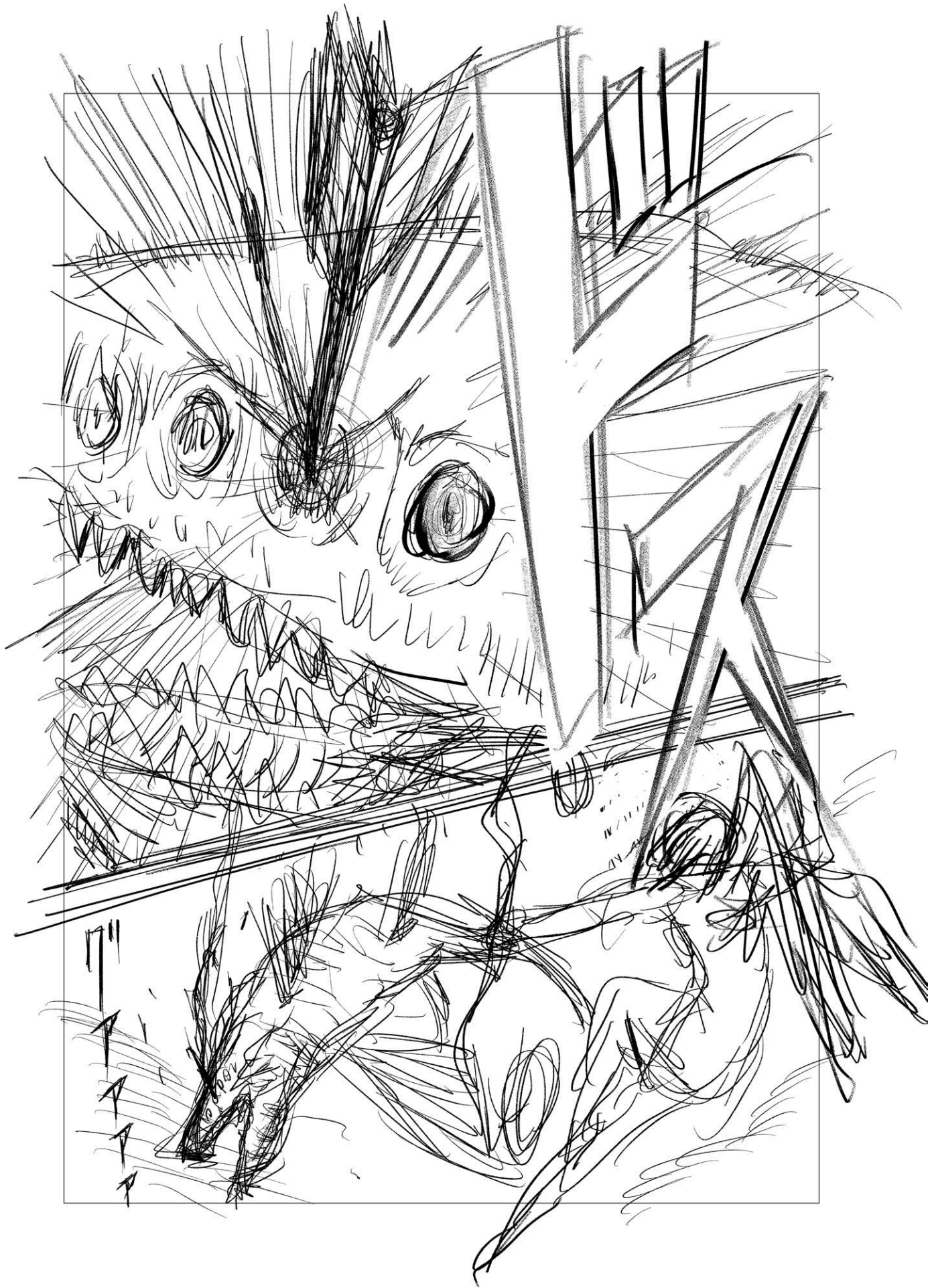
を

越

之

子

可成



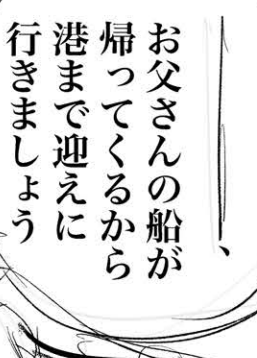


こいつはトビヲ

私たち天使は
翔^トぶ憎悪、飛^{ゾウオ}ぶ尾、
トビヲなどと
呼んで恐れている。

あの日、
わたしの故郷は
こいつら
トビヲに喰われた……

ガイアナ



お父さんの船が
帰ってくるから
港まで迎えに
行きましょう

父上
帰って
くるの?!

長旅だったから
あなたの顔を
見たら喜ぶわ

とな
目のア
ハに
...
な

いつものように
港への丘を
こえろと

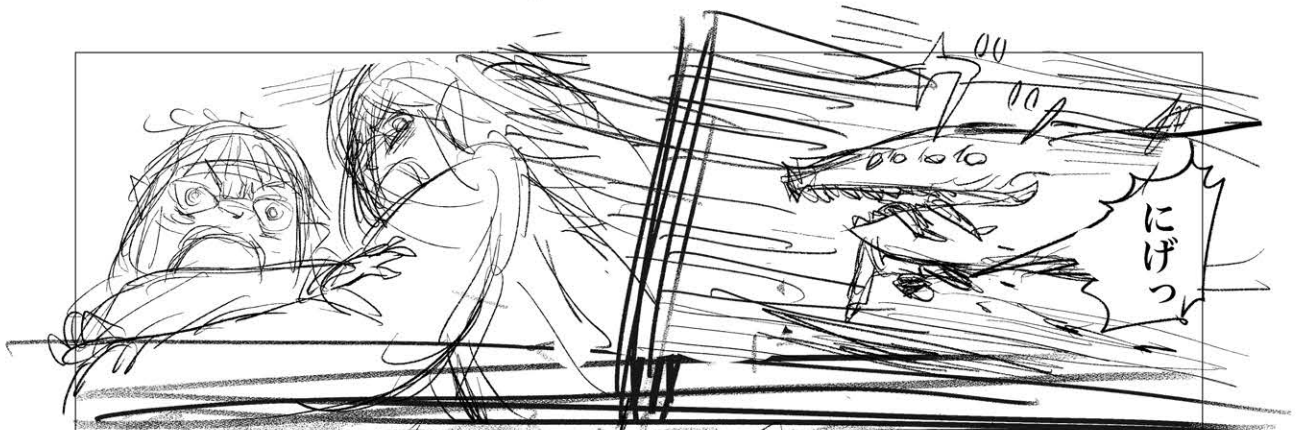
そこには
見慣れた
光景がある
はずだった

しかし、その日の港は
いつもと違う
騒然とした空気に
包まれていた。

逃げろー
トビヲだー！

皆に連絡を！

ガイアナ、
逃げろー！



奴らの影は
瞬く間に
空を埋め尽くし、

それは
津波となつて
次々と島に
押し寄せた。

そこからは
もうよくは
覚えていない、

母は最後まで
わたしを守ろうと
必死だった。

トビヲたちは、
あたりいぢめん
辺一面の全てを
喰らい尽くした。





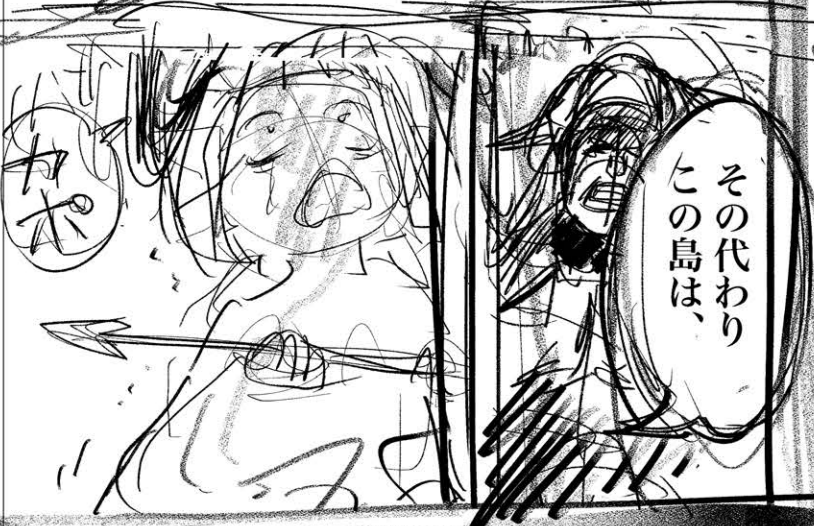


私を救ったのは
たった一人で
駆けつけた
※守護分隊の
戦士だった

※守護分隊…天使を守ることを生業とする天使達



自分の身は
守れるか？



その代わり
この島は、



私が
守ろう。



孤児となった私は
守護分隊で育てられた

トビヲがどこから来て
どうして天使ばかりを
狙うのか、それは
判らない

ただ確かなのは、
いつか奴らを
一掃することが、

わたしに残された
「希望」なのだ。

ハア

ハア

ハア

だいたい
片付けた
かな...

こう視界が
悪いと...

それにしても
雲が多いな...

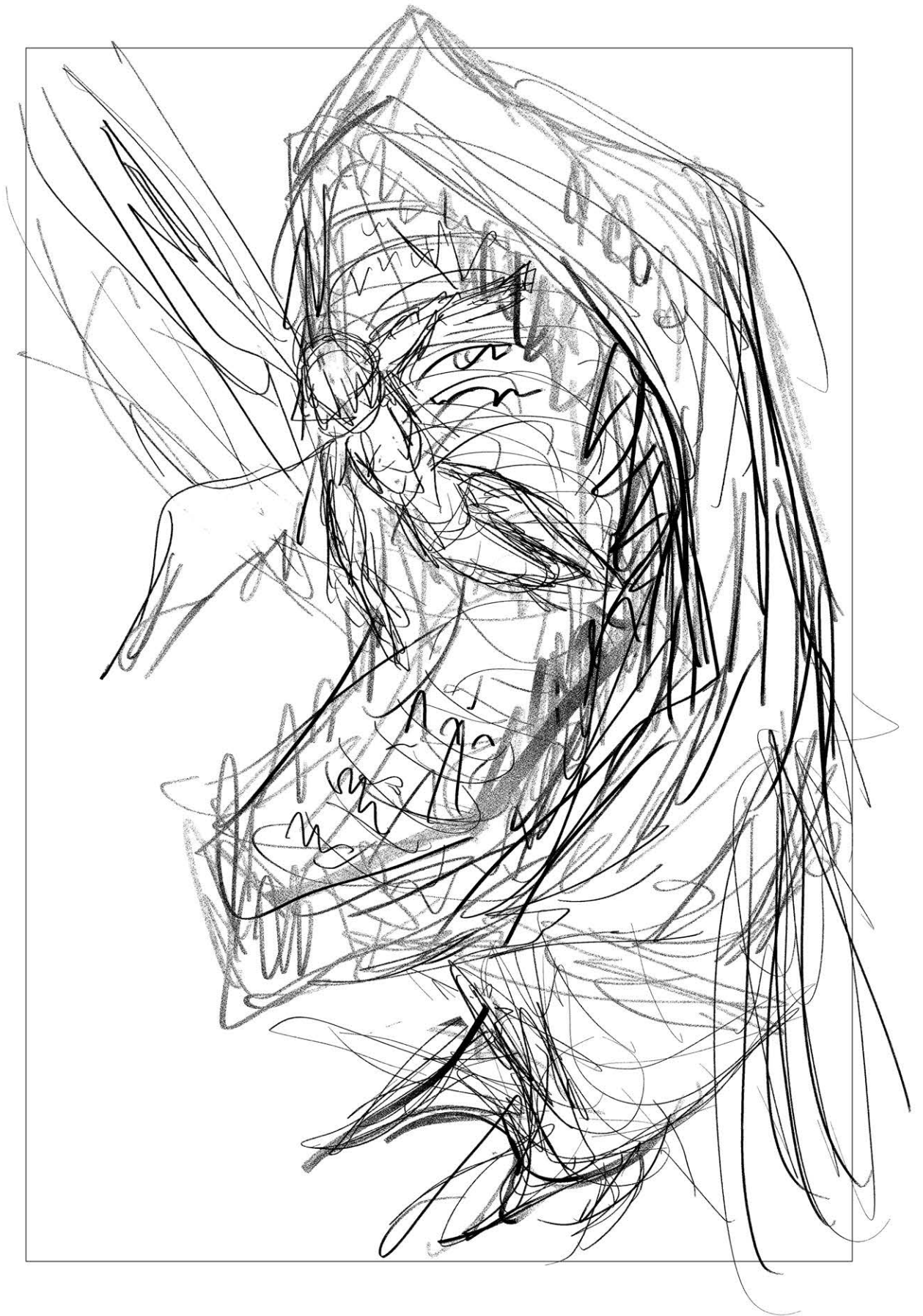
天気予報
ぜんぜん
アタって
ないじゃん

まだっ
いたっ！

なッ！

くっ…







パキ...

守護天使に
のみ託^{たく}される

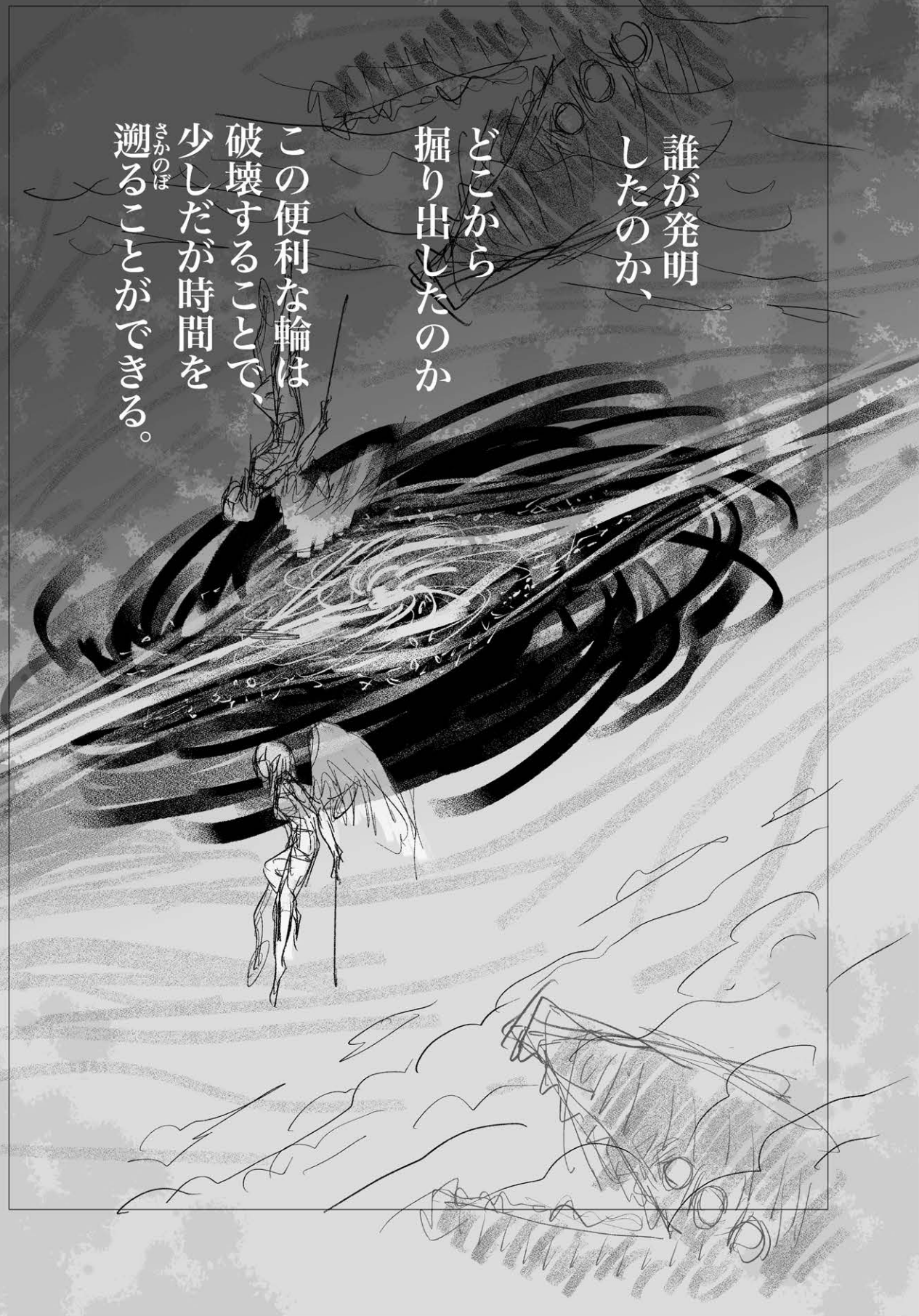
とき
一刻を辿^{たど}る命綱。

り、時間遡^リ上^{アップ}...

誰が発明
したのか、

どこから
掘り出したのか

この便利な輪は
破壊することで、
少しだが時間を
さかのぼ
遡ることができる。



そう――、
私たち天使は、

とき
一刻を――



やりなおす
ことが、

ちゃんと…

できる！





堕ちてろっ!!

いつも言ってるが
守護分隊の役割は
島を守ることだ、

おまえは
先行しすぎる。

あと、
それ

わかったぞ
もう

その遡上痕は、
またしばらく
とれねえぞ

ありがと

ホレ、
クモの糸の絆創膏
高いんだから
大事に使え

ほら
うきあがつて
きた…

目の下とか
あっちこっちに



どうして、
やり直す前の傷が
あとから少しだけ
出てきたり

このアザみたいな
跡上痕が
出てくるの？

そんなの
オレが知る
わけないだろ

アッサリ

ハートに
でも
聞けよ

いつも
2、3週間で
消えるだろ
それまでの
ガマンだ

やれやれ

そもそもおまえが
ムチャするからだ

まあ、
「やり直し」って
のはよ、
失敗したことが
なくなるわけ
じゃなくて、

失敗も含めて
やり直しだから、
なんじゃないかな。

……。
それ、
理由じゃ
ないよね。

うわー、
なんか
イイこと
ゆってる
気なんだ

ぜんぜん
説明に
なって
ないよ

う、うるせーっ

か、帰るぞ

めんどくさ
やっだな

また
はいまた

あー
ごまかした
大人の
そういう
ところ

いやだな

アルアル
だなあ



天使^{わたしたち}の世界は
失敗とやり直しの
つづらおり、

そんなことは、
取るに足りないことだ
とでもいうように、

今日も海は全てを受け入れ、
空はどこまでも広がっていた。

あ、今ごろ
晴れてきた

七海・メグ・ヤ
ナリ

第六区守護分隊記

著…ハート・T・ユリー

第1章 ^{とき}一刻を超える翼 <終> (第2章 翔べない翼 に続く)